

はじめに

本県の園芸特産農業は、7つのめぐみ（「豊かな緑」「きれいな水」「さんさん太陽」「でっかい標高差」「日本まん真ん中」「匠の技」「温かい人情」）を生かして、美濃から飛騨にかけて多種多様な作物が周年にわたって栽培されています。

これにより、県では「より良いものを、いつでも」供給できる銘柄産地・産品づくりによる「飛騨・美濃園芸王国づくり」を進めてまいりました。

しかし、近年の生鮮輸入野菜の急増、生産者の高齢化、担い手不足等により、産地の衰弱化と供給力不足が懸念されております。

こうした中、県では、個別化、個性化した産地づくり、ブランドづくりの推進を行うとともに、「安全・安心・健康な農林水産物の提供」をテーマに、化学合成農薬と化学肥料を30%以上削減した「ぎふクリーン農業」を重点的に進めているところです。

このため、消費者ニーズに応じた品種の導入や、「ぎふクリーン農業」に準拠した栽培技術を盛りこんだ技術体系の改訂を行いました。

また、持ち運び等の利便性を上げるために、「野菜編」・「果樹・特産編」・「花き編」・「資料編」に4分冊化しました。

本書が技術指導指針として活用願えれば幸いと存じます。

平成17年9月

岐阜県農林水産局園芸特産振興室長

羽賀 豊

目次

IV 資料

1	気象表	1
2	園芸作物の栄養診断と土壌診断指針	
(1)	要素の欠乏と過剰	10
(2)	畑地土壌の診断基準	30
(3)	土壌のpHと作物の生育	38
(4)	塩類濃度障害・ガス障害	40
(5)	野菜の養分吸収量	41
(6)	花きの養分吸収量	42
(7)	肥料の配合の可否	43
(8)	リアルタイム診断	44
(9)	家畜ふん堆肥の肥効を加味した施肥設計	47
	執筆者一覧表<資料編>	61